

# 平成27年度豊明市障害者地域自立支援協議会 議事要旨

平成28年 3月18日(金)

午後1時30分～3時10分 市役所会議室1

## 1 会長・副会長選出

## 2 議事

### 議題1 障がい者相談支援事業の実績について

事務局より資料1-1から1-5に基づき説明する。

#### 【質疑・意見等】

三浦委員：資料1-4 計画相談支援実績について児童はほとんどがセルフプランとなっている。保護者にきちんと情報提供した上のプラン作成になっているのか。

事務局：そうです。しかし、セルフプランで良いとは思っていない。28年度以降、相談支援事業所が増える予定のため、指定特定相談支援事業所によるプランにしていきたい。

三浦委員：他市の状況は50%程度と聞いている。セルフプランが多くても100%の達成はよいこと。

事務局(川上氏)：他市の状況を見ても、児童はセルフプランが多いのが実情。進路を決定する上で、高校2、3年生から相談支援事業所がかかわるのでは情報量が少なく学校への負担が大きくなる。高校1年生から相談支援事業所や基幹相談支援事業所がかかわる方針を打ち出している市町もあるので参考にしてください。

池戸委員(代理出席)：セルフプランについて親御さんの捉えかたはどうか。

事務局：親御さんがどのように捉えているか把握できていない。必ず、セルフプランと相談支援事業所による計画作成について説明し選択してもらっている。児童福祉課の窓口に来所される場合、多くは直ぐにサービスを利用したいとの意向で相談され、セルフプランを選んでいる。相談員から必要な情報は提供し、一緒に考えるよう対応している。

### 議題2 各部会報告および平成28年度の部会(案)について

事務局より資料2-1から2-7に基づき説明する。

資料2-7 28年度豊明市障害者地域自立支援協議会(案)については承認される。

#### 【質疑・意見等】

事務局(川上氏)：資料2-3 どの市町も人材育成・確保は課題で、前向きな取り組みである。土曜日に開催はどのように見学先の事業所や参加者に対して募集したのか。

事務局：実行委員会方式で話し合い、内容について検討し、学生も参加しやすい曜日を選んだ。参加募集は、各施設に実習で来ている学校にチラシを配布し周知を図った。その他、ホームニュースやケーブルテレビでPRを行った。見学先は土曜日開所している事業所へ依頼した。

### 議題3 障害者差別解消法の施行について

事務局より資料3-1から3-5に基づき説明する。

豊明市障害者地域自立支援協議会に差別解消支援地域協議会を付加することについては承認される。

#### 【質疑・意見等】

事務局（川上氏）：差別解消法支援協議を自立支援協議会に付加するのであれば、コア的な位置づけをどこにするのか明確にするべきである。

事務局：平成28年度については相談窓口は社会福祉課で、相談内容によって関係機関につなげていく。相談を集約した結果を本会議で報告し、今後の方向性、例えば新たに部会を設置するのか、部会のメンバーをどのようにしていくのか検討していきたい。

#### その他の質問

三浦委員：3月24日の市主催の就職説明会の案内が届いたがこれについて説明してほしい。

保護者等より色々な質問や問い合わせが豊明福祉会にきている。企業名ではなく、社会福祉課名で案内が送付されており、どう市が関わっているのか。説明会の案内が送られてくる人、来ない人の条件はどのようになっているのか。

A・B型事業所はとまどってみえる。利用者を受け入れるため、職員を採用しているが利用人数が減ると打撃が大きい。いつから事業が開始されるのか。

事務局：3月の説明会は療育手帳を保持している、身体障害者手帳保持者は除く、18～45歳の在宅生活者150名にお送りしている。

この事業は、12月議会で、障がい者雇用について千葉県へ視察に行った議員からの質問を受け、1月に市長、部長、社会福祉課長で視察に行った。260人（療育手帳A・B、1割が精神保健福祉手帳保持者）が雇用されている。水耕栽培の農園で、月に10～12万円の収入を得ることができる。3月22～23日に、企業と市で市内の事業所に出向き説明に行く予定。自立に向けた選択肢が増える。この事業に向かない対象者もみえるので各事業所と連携していきたい。

三浦委員：障がいのある人の支援として、福祉でやること、就労でやることの住み分けが必要であることは理解しているが、28年度事業として進めていくのなら、あまりにも突如話なので驚いている。市が関わるのであれば責任を持って実施して欲しい。良いことだけを説明するのではなく、雇用者

が生活支援まではできないこと等、きちんと情報を伝えてほしい。

事務局：3月の説明会は、豊明市民の反応を把握する意味もある。色々な課題を調整しすすめていきたい。

地域アドバイザー川上氏より地域で暮らす障がいのある方への支援について、愛知県や圏域内等の動き等の情報提供がある。

出席委員 岩名昭文 委員、川上智宏 委員、木村誠子 委員、近藤 二 委員  
鈴木智博 委員、辰野勝五 委員、坪田孝子 委員、早川 要 委員  
平野雅紀 委員、三浦美智子 委員、山本 茂 委員  
池戸悦子（藤田委員代理出席）

欠席委員 安藤豊子 委員、兼子忠男 委員、住田敦子 委員、藤田 潔 委員  
事務局 尾張東部圏域相談支援地域アドバイザー（川上）、相談支援部会長（吉井）  
障害児相談支援委託相談員（安達）、  
豊明市障がい者基幹相談支援センターフィット（森、磯貝）  
社会福祉課長（中村）、児童福祉課長補佐（岡田）  
障がい福祉担当係長（川原）社会福祉課担当（藤弘）

傍 聴 1名